

「今後の方向性」に基づく取組内容の記載について

本書の「平成26年度事務事業評価表（重点評価）」における「過年度の実績状況の評価と今後の方向性」欄は、平成26年5月28日～7月11日に、「『今後の方向性』に基づく取組内容」欄は、予算編成等の結果を踏まえ、年度末に記載したものです。

平成26年度事務事業評価表（重点評価）

事務事業名	高齢者虐待防止事業	担当部	福祉部
		担当課	高齢者支援課

過年度の実績状況の評価と今後の方向性

実績状況の評価	<p>(1) 高齢者虐待の件数は減少する傾向は見られないが、高齢者相談を受ける中で早期発見につなげることができている。 (2) 平成25年度に虐待と判断した55件のうち、35件(63.6%)が最終しており、シェルター保護を含めて危機対応は概ね良好である。 (3) 一時介護事業、ショートステイ、心理カウンセラーの派遣の利用実績は低い。 (4) 24時間電話相談は、24・25年度の2年間で217件の相談を受けた。介護ストレスを訴える相談もあり、介護者の介護ストレスの軽減に役立っている。</p>	
---------	--	--

改善	<p>(1) 介護者の介護ストレスを軽減することにより、虐待を未然に防止する取り組みを強化していく。 (2) 個別の事例の対応について、法律や精神保健等の専門家からのアドバイスを受け</p>
----	--

予算編成等の結果を踏まえ、年度末に記載した箇所です。

「今後の方向性」に基づく取組内容

1 今後の成果指標の目標値

成果指標	指標の根拠・計算式など	単位	区分	26年度	27年度	28年度
虐待対応最終結案件数の割合	通報・相談から6ヵ月後に最終している件数の割合	%	目標	70	100	100
—	—	—	目標	—	—	—

2 今後の活動目標及び活動指標の目標値

活動目標	視点	活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度
区内で発生した虐待事例に関する情報を共有し、連携を促進する。	協働	高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会開催回数	回	目標	—	2	2
虐待対応の中核で情報を共有し、相互の専門性を高め、連携を強化する。	プロセス	虐待事例の検証会議開催回数	回	目標	—	3	3
虐待防止の普及啓発を図る。	人づくり	虐待防止に関する研修会等の開催回数	回	目標	—	3	3
—	—	—	—	目標	—	—	—

※「葛飾区基本計画」における施策の目標値は、平成27、30、34年度で設定しています。したがって、「葛飾区基本計画」の施策に関連する指標及びその目標値を設定している事務事業は、平成26、28年度目標値を「—」としています。